

リーディングプロジェクト3

多くの市民が環境づくりにチャレンジする 環境を学び行動する市民を増やそう！プロジェクト



市民アンケート調査の結果では、環境に関する情報提供や知識の増進が課題となっています。また、リサイクルや省エネルギー行動を実践していないと回答した理由については、「どのような取組をすれば良いのかわからない」という理由が多く挙げられています。

一方で、例えば、SDGs の認知度について市民全体では「知らない」が約 6 割と高くなっていますが、10 歳代では「言葉も内容や意味も知っている」が約 4 割と特に高く、学校等による環境教育の効果が見られます。さらに、市が重点的に取り組むべき施策としては、10 歳代が「環境問題に関する講演会や学習講座の開催」を求めている回答が多く、若者の環境教育等に対する要望が高いことがわかりました。

環境基本条例及び環境基本計画（改訂版含む）の認知度については、どの条例・計画においても、「名前も内容も知っている」は約 2～3% となっており、「名前も内容も知らない」が約 7 割と、ほとんどの市民に認知されていない状況となっています。

こうした背景を踏まえ、「白岡市環境基本条例」や「白岡市環境基本計画」のさらなる周知に努めるとともに、環境に対する知識の向上を目指した学びの機会の充実を図り、環境に関心を持ち、学び、行動する市民を増やすための取組を推進することとします。



環境を学び行動する市民を増やすための取組

◆ 多様な主体、世代が学べる機会を充実させます！

- ボランティア団体などと連携しながら、自然環境に関する学習会の開催など、学校教育や社会教育での学習機会の拡大を図ります。
- 保育所や児童館などにおいて、児童や親子向けの環境学習、体験学習などを実施します。
- 環境関連事業の実施や、学校の授業における環境関連の副読本の活用などにより、学年に応じた環境教育や意識啓発を推進します。
- 自然観察会や体験学習、各種環境関連の生涯学習講座等の実施、拡充を通じて、幅広い世代の市民に対する環境学習を促進するとともに、自然学習指導者や公園ボランティアなどの育成を図ります。
- 地球環境に負荷の少ない生活への転換を促進するため、「広報しらおか」やパンフレット等により情報を提供するとともに、学校教育や社会教育等の機会を捉えて、地球温暖化対策に関する啓発を進めます。

◆ 市民、事業者に対する白岡市の環境行政への理解を深める機会をつくります！

- 「広報しらおか」やホームページ、教育・学習の場、イベント時など様々な場所と場面で、白岡市環境基本条例、白岡市環境基本計画を周知する機会を作ります。

【市民の取組の例】

- グリーンツーリズムなどのエコツアーに参加し、環境について楽しみながら学べる機会を多く持ちましょう。
- 自然観察会や環境学習の機会に関心を持ち、参加しましょう。
- 家庭において、環境について話し合う機会を設け、一緒に考えましょう。

【事業者の取組の例】

- 市や地域における環境学習の機会などに参加するとともに、企業として協力しましょう。
- 事業所の環境への取組について、地域へ周知を図るため、事業所の見学会などを検討しましょう。
- 従業員に対して、環境保全に関する勉強会などを開催し、意識向上に努めましょう。

【数値目標】

- 環境学習会・講座累計参加者数
59 人 ⇒ 700 人
(R1) (R12)
- 市内小・中学校における SDGs をテーマにした環境学習の実施
年間 32 回 ⇒ 年間 80 回以上
(R1) (R12)
- 白岡市環境基本条例認知度
(名前も内容も知っている)
2.3% ⇒ 15.0%
(R1) (R12)
- 白岡市環境基本計画認知度
(名前も内容も知っている)
3.1% ⇒ 15.0%
(R1) (R12)